

## 令和7年度高浜市環境対策協議会 議事録

### 【開催概要】

開催日時：令和8年3月30日（月）14:00～16:00

開催場所：高浜市いきいき広場 会議室 A

### 【出席者】

〔委員〕 15名

磯貝 恵一、井上 琴代、尾崎 稔彦、磯部 賢、川角 由美子、内田 真輔  
石川 千昌、小笠原 徹之、片岡 明博、安井 孝一、小木曾 敦、杉浦 久仁子  
西野 正洋、水谷 伸介、芝田 啓二

### 〔事務局〕

市民部長 岡島 正明  
経済環境グループリーダー 都築 真哉  
経済環境グループ主査 柘植 一馬

### 【次第】

1. あいさつ・事務連絡
2. 自己紹介
3. 会長・副会長の選任
4. 議題
  - (1) 高浜市環境基本計画の進捗状況
  - (2) 「第3次高浜市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の取組結果
  - (3) 新たなリサイクル推進体制の構築
  - (4) ごみ処理施設の検討状況

## 【議事内容】

1. あいさつ

2. 自己紹介

3. 会長・副会長の選任

- ・委員の互選により、会長に内田委員、副会長に尾崎委員を選任

4. 議題

### (1) 高浜市環境基本計画の進捗状況

- ・事務局より資料説明

[意見・質問]

- ・高浜市ではリサイクル率が減少しているが、民間での傾向はどうか。

→量でいえば2022年をピークに減少傾向にあるが、購入量にもよるので率は不明。

- ・不燃ごみがどのようなものか市民に伝わっていないのではないか。周知が必要。

・汚れたプラスチック製容器包装は燃えるごみとなっている。資源化についてもっと周知すべき。

- ・そもそも分別された資源はリサイクルされているのか。

→市が回収したきれいな資源はそれぞれの資源ごとにリサイクルされている

- ・灰は高浜市ではリサイクルしないのか。

→クリーンセンター衣浦でのリサイクルは行っていないが、灰の一部を県外の民間施設にてリサイクルしている。

- ・事業系ごみの排出量や二酸化炭素排出量について、計画策定時より悪化している原因、対策は具体的にどうなっているか。

→二酸化炭素排出量は、熱中症対策の兼ね合いがあり、エアコンの稼働を抑えることが難しい。電力供給会社の排出係数の見直しを期待したい。

→事業系ごみについては、令和7年10月より施設使用料を10kgあたり100円から200円に増額した。

## (2) 「第3次高浜市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の取組結果

- ・ 事務局より資料説明

[意見・質問]

- ・ 省エネ化については、支出に対するコスパを考えながら事業者として進めてきた。計画に記載があるように、エコのために職員が階段を使用する、エアコンを我慢するなど、作業効率を落とす必要はないと考える。  
→ケースバイケースであると考え。必要であれば車やエレベーターを使用している。
- ・ LED化を進めているとのことであるが、蛍光灯をLED化する工事費について、市からの補助はあるか。  
→補助はない。
- ・ エアコンに大きく費用がかかるが、建物の断熱性能を高めれば費用の削減や二酸化炭素排出量の削減効果が見込める。
- ・ 防犯灯や防犯カメラの数値が増えているが、台数が増えたのか。  
→そのとおり。
- ・ 台数の推移がわかるとよい。
- ・ かわら美術館の数値が増えているが、そんなに二酸化炭素を排出しているのか。  
→収蔵品などがあり、空調により温度を保たなければならない。

## (3) 新たなリサイクル推進体制の構築

- ・ 事務局より資料説明

[意見・質問]

- ・ 店舗で回収する資源を増やそうとする場合、行政にどのように協力してほしいか。  
→現在回収している資源は売却するのにメリットがあるから行っている。今後新たに店舗でビンや電池などを回収した場合、売却にメリットが少ないため、市で収集運搬をしてほしい。
- ・ 業者の収集運搬頻度は週1回程度か。  
→量が多いので、週1回では間に合わない。
- ・ 民間の回収量は市のリサイクル率に入れられるのか。  
→市で公表しているリサイクル率には反映できないと思うが、実質のリサイクル率は上がる。
- ・ シルバー人材センターがどこまでのことを資源拠点で行うのか。

- かごやプレートなどの準備、片付け、開設時間内における持ち込まれた資源等の分別を行ってもらう。まずはこの体制で4月からスタートさせていただく。
- ・他市における資源拠点の運営事例を調査して参考にしてほしい。

#### **(4) ごみ処理施設の検討状況**

- ・事務局より資料説明

[意見・質問]

- ・2050年ゼロカーボンに向けて、ごみ処理方式については環境への配慮も検討してほしい。

#### **○議題全体を通じた意見**

- ・企業としても2030年、40年に向けて二酸化炭素排出量の削減目標を掲げているが、達成は不可能であると考え
- ・情報発信を積極的に行うことで、問い合わせ件数が減り、結果仕事の効率化につながる。
- ・情報発信の方法としては、基本的にリテラシーの低い人（分別意識が低い人など）を意識した発信に努めるべき。エンタメ化した発信が効果的であると考え。そのためにAIを活用すべき。
- ・高浜市は分別意識が高いと感じた。職場内でも環境意識向上に向け啓発を行っていきたい。